

石黒 由美子

2008 北京オリンピック アーティスティックスイミング競技 元日本代表

奈良女子大学大学院博士課程後期課程在学中



1983年10月生まれ。愛知県出身。小学校2年の秋、交通事故に遭い、顔面を540針、口の中を260針も縫う大けがを負った。入院中にテレビで見たアーティスティックスイミングに憧れ、翌年から競技を始めた。記憶喪失や顔面まひ、視力障害、難聴などの様々な後遺症に苦しみながらも母と二人で夢の舞台であるオリンピックを目指し、2008年北京オリンピックに見事出場を果たす。その傍ら2007年には愛知教育大学にて幼稚園から高校までの教員免許を取得。2009年4月より神戸大学大学院に進学。小学校と看護専門学校で非常勤講師を務めた。追手門学院大学や創価大学の非常勤講師を務め、現在は奈良女子大学大学院博士課程で犯罪被害者支援の一つとして「児童虐待」をテーマに研究中。

◇ 主な競技歴

- 2001年 FINAジュニアワールドカップ(チーム2位)、第56回国体(デュエット2位)
- 2002年～2004年 スイスオープン(チーム優勝、コンビネーション優勝)三連覇
- 2006年 日本選手権(コンビネーション3位)
- 2007年 スイスオープン(ソロ優勝)、日本選手権(ソロ6位)
- 2008年 北京オリンピック(チーム5位)

◇ 表彰

文部科学大臣賞、刈谷市民栄誉賞、愛知県スポーツ功労賞、名古屋市スポーツ功労賞

◇ テレビ出演

- フジテレビ『奇跡体験アンビリバボー』(2009/10/29)
- NHK『ドラクロー』第一回(2010/10/24)
- 関西テレビ『ココロの旅』(2010/12/04)
- 日本テレビ『魔女たちの22時』(2011/02/15)
- テレビ東京『生きるを伝える』(2014/01/11)

◇ DVD 『The Stories Vol.1 信じる力』

(ブザービート2014年5月発売)

◇ 書籍『奇跡の夢ノート』

(NHK出版2010年8月発刊)

ハンディキャップを抱える人たち、その親御さんたちに、
勇気と希望を届けるメッセンジャーになりたいと思う。

**「夢ノート」に書いたことは必ず叶う！
夢をあきらめない！**



「『夢ノート』に書いた内容が実現したのは、奇跡でもなんでもないんです。私は、本当に血を吐くほど一生懸命努力しました。だから、夢を叶えることができたんです」
しかし、そのとき一緒にいた母が、こう言ったのだ。

「『奇跡でもなんでもない』。そう思えることが、奇跡なんだよ」(あとがきより)

